

報 告 春秋あずまお

第四号

2006年
9月吉日

会報発行元

坂本あずまお後援会事務所

〒一七五〇〇九四 板橋区成増四―三―三十四

TEL 〇三―六七八一―〇七七〇

FAX 〇三―六七八一―〇七七五

入会希望者
随時受付中

www.azumao.com

成増阿波おどり大会に参加

なつかしの阿波おどり

板橋の皆様、こんにちは。坂本あずまお後援会です。去る八月三日夕、成増駅北口および南口で行われた第二十三回成増阿波おどり大会に参加しました。毎年八月に行われ、地元の人々でにぎわう成増阿波おどり大会。今年も高円寺からの三連を含む十三連が参加しました。坂本あずまおは今回、成増連の先頭でちようちんを持ちました。

坂本あずまおは四歳のとき、地元成増の子供たちで結成された「成増チルド連」の一員として、高円寺阿波おどり大会で初参加。一九八三年、有楽町線開通とともに始まった第一回成増阿波おどり大会に五歳で出場。小学生になってからはお囃子に転向。小学校卒業まで毎年参加しました。今回の阿波おどりは実に十六年ぶり。踊りやお囃子の経験はあっても、ちようちんを持つのは初体験。初めはぎこちなさも見られたものの、にぎやかなカネや太鼓の音とともに「だんだん記憶がよみがえってきた！」と興奮気味に語るあずまお。地元商店街のみなさんに「あずまお君、がんばって！」とご声援をいただき、笑顔であいさつ。いよいよ絶好調というところで踊りは終了。

◆あずまおの感想◆

「連のシンボルであるちようちんを持つという大役をやらせていただいて大変感謝している。今回の阿波おどり大会参加を通じて、ちようちんの重さばかりでなく、連の踊り・お囃子・皆の旗頭であり、責任の重さを感じた。これからもこの思いを大事にしたい。」

「小さい頃、共に踊った仲間達とまた一緒に阿波踊りがしたい。踊りの好きな者同士

が自然に集まって、熱く楽しい夏を過ごせる阿波おどりは、日本の素晴らしい文化。これこそ正に人と人とを結ぶ交流の場だと思ふ。そして、こうした活動が、街の活性化につながるのだということを実感した。」

今回の成増連参加は、現在成増連の連長をしている父、恒男のはからいで実現した。父はお囃子で笛を担当しました（写真左・中央）。あずまおはまた、八月二十七日、高円寺阿波踊り大会に参加。この日は古巣である成増チルド連のちようちんを持たせていただきました。あずまおにとって、たくさんの方を学ぶ貴重な体験となりました。はや、来年の夏が楽しみです。皆様のご声援、ありがとうございました。



成増連の先頭で大きなちようちんを持つあずまお



板橋区政のために、生きる。



皆さんのご意見・お考えをお寄せ下さい。⇒ sakamoto@azumao.com

《坂本あずまお 履歴》

本名：坂本 東生（28歳）
1978年 板橋区成増生まれ。みその幼稚園、成増ヶ丘小学校を経て、早稲田中学高等学校卒業。1997年9月トルコ・ボスフォラス大学入学、その後、渡英。英国・マンチェスター・メトロポリタン大学で政治学を専攻。2004年卒業後、帰国。現在、NPO地球文化交流会理事として、国際文化交流活動に励んでいる。父・恒男。祖父・由五郎。屋号はカゴヤ。

集まろう
見たい 聞きたい
言いたい 仲間達

